

## 半田市政に関する提言書

令和5年11月25日に開催いたしました「HANDA市民討議会2023」において討議された意見等を取りまとめ次のとおり提言いたします。

### 討議テーマ

『このまちの未来は 私たちが守る』～みんなで考えよう、楽しみながらできる持続可能な取組～  
地球温暖化防止に向けた、温室効果ガス実質排出量ゼロを目指した脱炭素の取組（ゼロカーボン）について、積極的に楽しみながらできることを考えよう！

### 課題整理

ゼロカーボンシティはんだを達成するための課題を次のように考えています。

- ・ゼロカーボンに対する認識が低く、半田市の既存の取組みが知られていないこと
- ・情報の発信力不足によって、市民が知る機会がないこと
- ・知識不足などにより、ごみの分別が徹底できていないため、資源として活用できるものが捨てられていること

ゼロカーボンやごみの分別に関して市民の意識変化や行動力を向上させることで、市民全員が行動できる環境改善を推進し、ごみの減量や処理コストの低減によるゼロカーボン達成につながると考え提言します。

#### 1. 市民への参加の促し

ゼロカーボンへの行動につなげるため、市民の取組に対しポイント制度による資源回収ごみ袋の配布を行うなど、市民への参加を促す。

#### 2. 子どもへの教育

次世代を担う子どもたちに教育をすることで、ゼロカーボンについて知ってもらう。また、ボランティア体験やごみ処理施設見学ツアー等のイベントを開催して、学ぶ機会を作る。

#### 3. 情報発信や既存の取組の周知

SNSやホームページを利用した節電イベントや半田市のごみの量などの数値の情報発信、既存の半田市の取組みである剪定枝粉碎機の有効活用、バイオマス発電の見学会の実施、資源回収やマイルポはんだ、生ごみ処理機購入補助金などの周知をする。

#### 4. 公共施設を活用した3Rの場所づくり

公民館を活用した3R（リデュース、リユース、リサイクル）の場所づくりを行い、資源回収や生ごみ処理の説明や設備づくり、まだ使えるものと使いたい人とのマッチングをする。また、案内の多言語化・ピクトグラム化等を行い、世代や国籍に関わらず交流できる場として公民館を活用する。

令和6年1月30日

半田市長 久世 孝宏 様

HANDA市民討議会実行委員会  
委員長 松 石 陽 介